

ポプラ通信 No.8

社会福祉法人 路交館
児童発達支援センターわかさ
放課後等デイサービス ポプラ
文責：山下
2016年11月04日（金）発行

木々の葉が赤や黄に色づき、風も冷たく吹き、冬に備えて季節が段々と変わり始めてきました。ポプラではこの季節に向けてあるプロジェクトを前から進めておりました。秋と言えば、読書、スポーツ、そしておいしい旬の食べ物。そうです。毎年恒例のサツマイモです。今回はサツマイモの育てている様子や、収穫、調理風景などの報告をしたいと思います。

5月(全てはここから始まった)

さあ、おいしく食べるために、まずやらなければならないことがあります。それは何でしょう？はい、苗植えです。サツマイモをふかふかした土の中に埋めてあげないと育ちませんよね。というわけで、まずは苗植えをしている場面です。



小さなシャベルを使って土を掘り、しっかりと苗を土の中に埋め込んでいますね。先はまだ長いけれど、みんなの成長とともに、サツマイモも大きく育ってくれるから、頑張ってこれから育てていきましょう。

7月(大変！お腹を空かした鳥に畑が荒らされる)

サツマイモもそうですが、一緒にとないで育てていたきゅうりやトマトができてはじめて、それをねらう敵が畑の近くに姿を現し始めました。その敵はカーッと鳴き、真っ黒な体、鋭くとがったクチバシ、翼と賢い頭が自慢。そうです、みんな知っているカラスです。腹ペコカラスが畑に無断で入っていることがありました。このままでは、みんながせっかく育てたサツマイモやきゅうりが台無しになってしまいます。そこで、みんなで力を合わせて防鳥グッズを作ることになりました。



守らないと！！

急いで作ろう。

使わなくなった古いCDに、カラスが気味悪く感じるように不気味な絵をそれぞれ描いてもらいました。特徴のある絵を楽しく描き、それを紐に通して完成！ひとまずこれでカラスは畑に立ち寄りにくくなったと思います。

写真を取り忘れましたが、他にも看板付きのカカシをつくり、畑に立てかけました。

9月のおわり(サツマイモはできたかな)

長きに渡り、みんなで守ってきたサツマイモがそろそろ収穫してもいい時間になりました。みんなここまでよく頑張りました。さあ、頑張った証を土を掘って確かめてみよう！！



エイショ！

大きいの

土まみれにないながら、精一杯力を入れて、一人一人がサツマイモを抜いてみせてくれました。重たい分、しっかりとおいしい味がその中に凝縮していると思います。苦勞して採れたサツマイモを今度は調理して美味しく食べるぞ！

10月(さあ美味しく食べよう)

長らくお待ちいたしました。沢山採れたサツマイモのクッキングタイムです。去年は形を変えて調理をしましたが、今年はサツマイモ本来の味を食べようと思い、「焼き芋」にして食べることにしました。



まだかな～？

ん～♪

そのまま焼いてはいけません。まずはサツマイモを丁寧に洗ってから、アルミホイルと新聞紙で包み込みます。そして、バーベキューコンロで炭焼きにして完成！！…のはずでしたが、当日は小雨が降っており、湿った空気もあって、中々炭に火が燃え移りませんでした。炭焼きにしてから1時間が経ち、やっと炭に火がいきりましたが、活動時間は残りわずか。半焼け状態で打ち切り、あとは持ち帰って電子レンジで温めてから小さく切って食べました。火が通り、一層サツマイモの甘さを堪能することができましたでしょうか？また美味しく食べられるように、来年も頑張ってサツマイモを育てましょう！

ポプラでは、さまざまな機会を通してメンバーさんに社会経験を積んでほしいと考えています。今後も畑活動やレクリエーションを通して、生きる力を育む機会へと繋げていく活動を行っていきます。